

みずほCustomer Desk Report 2025/08/29号(As of 2025/08/28)

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値	147.38
TKY 9:00AM	147.34	1.1648	171.56	GBP/USD	AUD/USD
SYD-NY High	147.49	1.1697	171.77	1.3505	0.6513
SYD-NY Low	146.66	1.1629	171.17	1.3530	0.6537
NY 5:00 PM	146.96	1.1683	171.67	1.3484	0.6504
				1.3507	0.6533
	終値	(前日比)		終値	(前日比)
NY DOW	45,636.90	71.67	日本2年債	0.8500%	▲0.0100%
NASDAQ	21,705.16	115.02	日本10年債	1.6200%	0.0000%
S&P	6,501.86	20.46	米国2年債	3.6311%	0.0174%
日経平均	42,828.79	308.52	米国5年債	3.6915%	▲0.0089%
TOPIX	3,089.78	20.04	米国10年債	4.2043%	▲0.0329%
シカゴ日経先物	43,475.00	610.00	独10年債	2.6967%	0.0034%
ロンドンFT	9,216.82	▲38.68	英10年債	4.6985%	▲0.0355%
DAX	24,039.92	▲6.29	豪10年債	4.2980%	▲0.0330%
ハンセン指数	24,998.82	▲202.94	USDJPY 1M Vol	9.62%	0.14%
上海総合	3,843.60	43.25	USDJPY 3M Vol	9.79%	0.29%
NY金	3,474.30	25.70	USDJPY 6M Vol	9.69%	0.19%
WTI	64.60	0.45	USDJPY 1M 25RR	▲1.23%	Yen Call Over
CRB指数	301.75	1.01	EURJPY 3M Vol	8.27%	0.04%
ドルインデックス	97.81	▲0.42	EURJPY 6M Vol	8.57%	0.05%

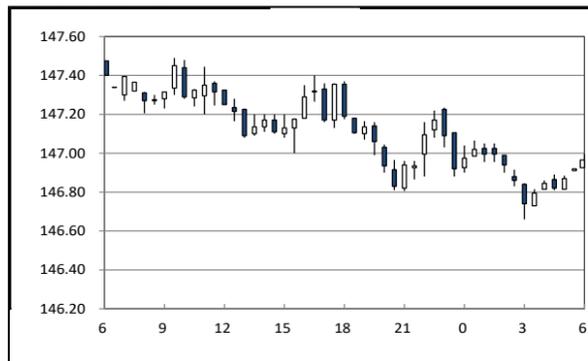
【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
8月28日	18:00	欧 消費者信頼感・確報	8月 -15.5	-
	21:30	米 GDP(年率/前期比)	2Q S 3.3%	3.1%
	21:30	米 個人消費	2Q S 1.6%	1.6%
	21:30	米 新規失業保険申請件数	23-Aug 229k	230k
	23:00	米 中古住宅販売仮契約(前月比)	7月 -0.4%	-0.2%

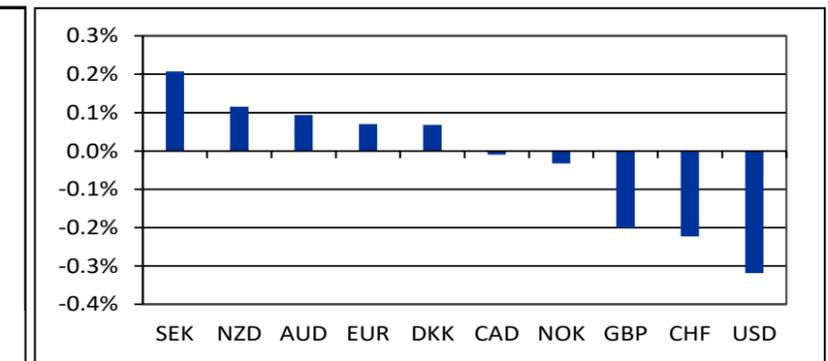
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
8月29日	08:30	日 失業率	7月 2.5%	2.5%
	08:30	日 東京/東京コア/東京コアコアCPI	8月 2.6%/2.5%/3%	2.9%/2.9%/3.1%
	15:00	独 小売売上高(前月比)	7月 0.0%	1.0%
	15:45	仏 CPI(前月比/前年比)・速報	8月 0.5%/1%	0.2%/1%
	21:00	独 CPI(前月比/前年比)・速報	8月 0.0%/2.1%	0.3%/2.0%
	21:30	米 PCEコアデフレーター	7月 0.2%/2.6%	0.3%/2.6%
	23:00	米 ミシガン大学消費者マインド・確報	8月 58.6	58.6
8月31日	10:30	中 製造業PMI	8月 49.4	49.3
	10:30	中 非製造業PMI	8月 50.3	50.1

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	146.50-148.20	1.1580-1.1700	171.00-172.10

【マーケット・インプレッション】

月末のフロードリブな展開に、ドル円は底堅く推移すると予想。本日は海外時間にコア個人消費支出価格指数の発表が予定。米7月CPIや米7月PPIの堅調な結果からトランプ関税の影響によるインフレ再燃が意識されるなか、市場予想以上に伸び幅が加速する可能性を警戒したい。その際には昨日発表された米新規失業保険申請者件数の減少も相まって、9月FOMCでの利下げ観測が後退しドルが急伸するとみる。但し、トランプ米大統領のクックFRB理事即時解任騒動は法廷闘争に発展しており、FRBの独立性を巡る懸念が煽るもどではドルの上値は重かる。

東京	東京時間のドル円は147.34レベルでオープン。山口県金融経済懇談会にて、中川日銀審議委員が利上げに向けて環境は改善傾向であると発言。日銀による早期利上げの思惑や米金利の低下などから、ドル円はじり安に推移し147円付近まで下落。その後は147.18レベルまで小幅に値を戻し海外時間に渡った。
ロンドン	ロンドン時間は147.18レベルでオープンし、明日発表予定の東京CPIおよび米国PCEを控えて、146.81~147.40のレンジで方向感なく推移。その後、146.93レベルでNY市場に渡った。
ニューヨーク	NY市場のドル円は朝方に発表された米第2四半期(改定値)が予想を上回った事や、米新規失業保険申請件数が予想を下回った事を受け147.23まで上昇。しかし、その後は米長期金利の低下が重しとなり、147円台を割り込み、146.90付近まで下落。午後は146.66まで値を下げる場面もあったが、その後は下げ渋り反発し、146.96レベルでクロス。一方、ユーロドルは欧州株が下げ幅を縮小する動きや、米金利の低下等を横目に1.1670付近を挟んだ推移が続く。午後は米長期金利が下げ幅を拡大する動きを受け、1.1697まで上値を伸ばす。その後は小幅反落し、1.1683レベルでクロス。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。